



## 新入社員のみなさん! 入社おめでとうございます!

初めての仕事や職場に対する不安や悩みはありませんか?

私たちJR東日本労働組合(東日本ユニオン)に気軽に相談してください!



### 東日本ユニオンで私たちとともに働きやすい職場を創りましょう!

① 長岡のPRCの人に行ってもらう ② 遠隔地なのでタブレット等のオンラインで自区所の管理者と行う ③ 出発前に自区所で行

# 長岡車両センター廃止後の体制を解明

## 「新潟支社における運輸車両部門の組織再編について」に対する第二次申し入れ(車両職場再編・検修業務関係)団体交渉 ②

新潟地本は2月16日、申13号「新潟支社における運輸車両部門の組織再編について」に対する第二次申し入れ(車両職場再編・検修業務関係)の団体交渉を行いました。廃止が提案されている長岡車両センターに関して、設備の管理や異常時の体制、冬期の体制などについて支社側の考えを質しました。

### 車両センター等の施設の管理について

長岡車両センターにおいて、残存する車両検修設備の管理をどのように行うのか質し、新潟車両センターが管理を行うことになるとの回答を受けました。

その上で、今ある車両検修設備はそのまま残り設備グループが管理、その他建屋に関する設備については一時的に設備グループが窓口になるかもしれないが、管理する部署は別になるとしました。

また、長岡車両センターが担っている石打駅構内と十日町駅構内の車両検修設備の管理も、新潟車両センターが行うと明らか

### 業務の担当、進め方について

長岡車両センターで車両故障が発生した場合の対応について質すと支社側は、基本的な考えは変わらず、新潟車両センターから派遣修繕に行くことになるとしました。

異常時の出動方について質すと、基本的には新潟車両センターに出勤してから現地向かうことになり、長岡の在住者が呼出で現地向かう場合でも、保護具を新潟車両センターから持つて行き合流することになるとの考えを示しました。

長岡車両センター到着後のフローについては、PRCに作業申込み、打ち合わせし、必要により安全教育を行うとしました。

教育方法については、①長岡のPRCの人に行ってもらう ②遠隔地なのでタブレット等のオンラインで自区所の管理者と行う ③出発前に自区所で行

検査の施行は年数回であると回答しました。断路器の草刈りも適切な時期に長岡車両センターが行っていて、断路器は車両検修設備ではないものの検査には必要な設備であるため、新潟車両センターで実施する考えであるとしました。

また、除雪や掃除、消防設備についても新潟車両センターの管理で考えているとしました。

その上で、長岡のPRCは検修業務の経験があるとはいえ、あくまで駅の誘導・信号担当業務であることから、役割については分けて考える必要があるとの考えを示しました。

酒田駅構内で電力社員が、E653系の屋根上でカラス除去をしたことがあることから、新潟車両センター以外の社員が対応することがあるのか考えを質しました。

支社側は、安全を担保した上で現場判断、指令判断で長岡営業統括センターのPRCの社員から確認に行ってもらおうことや、貼り紙対応をしようとした上で、駅の誘導・信号担当であることは踏まえないといけないとの認識を示しました。



が行っていた業務について、22項目にわたって施策実施後にはどのような行なうのか明らかにするよう求めました。

支社側は、乗務員の起床装置管理や輸送障害時の乗務員タクシー便乗手配などは長岡運輸区、点呼時における出区番線伝達や乗務員体調不良等の対応などは各運輸区、運転統計の入力や機関車使用計画作成などは新潟車両センターが行うほか、運用変更による入出区時刻の設定及び相互チェック、保守作業事前打ち合わせや照合及びチェックなどはPRCで行うとしました。

乗務員に対して自区の当直が伝達する点呼線の情報を得て把握することもあったとしました。

支社側は、長岡営業統括センターとなって以降の対応や運用について課題であることは認識しているとして、総体での対応となるので現長岡車両センターに常駐者を置くという考えはあると思うとの考えを示しました。

一方、現段階で具体的なものは無いが、今後考えていくとしました。長岡車両センター構内の除雪は、今まで検修社員が対応していたものの、施策実施後には不在となることから、どのように対応するかを質しました。支社側は、MRによる除雪や、機関車による道付けができないか、発注も考え

### 冬期における体制について

長岡車両センター構内の積雪状況等の把握について質すと支社側は、主としてPRCであるが、運輸区に連絡して乗務員からの情報を得て把握することもあったとしました。

支社側は、長岡営業統括センターとなって以降の対応や運用について課題であることは認識しているとして、総体での対応となるので現長岡車両センターに常駐者を置くという考えはあると思うとの考えを示しました。

長岡車両センターの暖房予熱で考えていることはあるかを問うと、重要性は認識しているが、来冬期のことなのでまだ示せるものはないとしました。

冬期に関しては現時点未定のため別途提案とす支社側に対し組合側は、今冬期を踏まえて必要であるという点であれば、この施策と一緒に考えるべきだと指摘しました。

